

総務の
365日

オフィスで行うオンライン会議時のよくあるお悩みとその解決策とは？

インターネット環境とパソコンなどがあれば、手軽に実施できるオンライン会議。テレワークと出社を組み合わせた「ハイブリッドワーク」をはじめとする働き方の多様化に伴い、オンライン会議を実施する機会は増加しています。

その一方、オンライン会議に対応した設備が充分ではない場合、オフィスの快適性が損なわれたり、情報漏洩のリスクが高まったりするなど、様々な問題が発生してしまいます。

そこで今回は、オンライン会議で起こりがちなお悩みとその解決策をご紹介します。

オンライン会議時によくあるお悩み

インターネット環境とパソコンなどがあれば実施できるオンライン会議は、本来は会議用ではない場所(会社の自席や自宅など)から参加する事も多く、「会議室」では気にしていなかった周囲への「音」の配慮が必要です。

オンライン会議は、自宅から参加するケースもあれば、出社してオフィスの自席で会議に参加するケースもあるでしょう。その時に気になるのが、「自分の声」と「周囲の音」です。機密性のある話が聞かれてしまう、周囲の社員からうるさいと言われるなどといったトラブル防止にも、「音」への対策は必要です。

オンライン会議時によくある悩み

オフィスで、商談内容が隣のweb会議に聞こえていないか心配...



オフィスが静かすぎて自分の声がうるさくないか気になる...

カフェや公共空間では声が漏れるためweb会議できない...

会議室にこもってWeb会議に参加したいが部屋数が足りない...

「音問題」の代表的な解決策とその課題

オフィスでのオンライン会議時に発生する「音問題」の対策として、「既存の会議室を使用する」「パーティションブースを設置する」「会議室を増設する」といった方法が挙げられますが、いずれの方法も課題があります。

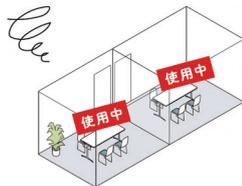
■「既存の会議室を使用する」場合のメリットとデメリット

メリット

- 改装の必要がない

デメリット

- 部屋数を増やすことができない
- 利用者数の増加に対応できない



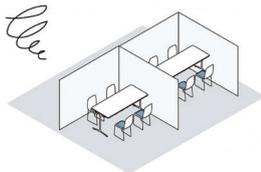
■「パーティションブースを設置する」場合のメリットとデメリット

メリット

- 比較的安価に構築できる

デメリット

- 遮音性能がなく簡易的なものとなるため、情報漏洩の危険性がある



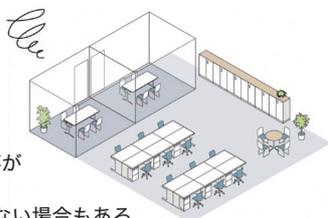
■「会議室を増設する」場合のメリットとデメリット

メリット

- 様々なニーズ・要件に合わせた個室を作る事ができる

デメリット

- 各部屋に空調・排煙などの各種設備工事が必要で、費用が高くなる傾向
- 既存設備の状況により工事が実施できない場合もある
- 遮音性能は工事方法に左右される



オンライン会議時の「音問題」対策におすすめのアイテム

オンライン会議の「音問題」には、大掛かりな工事が不要で、設置するだけで手軽に対策ができる「ボックス型の個室ブース」や「半個室型のブース」「卓上設置型のブース」がおすすめです。それぞれの特徴をご紹介します。

① ボックス型の個室ブース

高い遮音性を求めている場合におすすめ

ボックス型の個室ブースは、公衆電話のボックスのような形になっている完全個室を指します。クローズド環境で音環境にも配慮している商品も多いため、オンラインミーティングや1人での集中作業に向いています。ボックス型の個室ブースをオフィス内に設置することで、周囲の音を気にせずオンラインミーティングに参加することができます。



また、機密性の高い打ち合わせの時に使用することで、情報漏洩を防ぐこともできるでしょう。 ※設置状況により消防等の設備工事が必要な場合があります。

② 半個室型のブース

完全な遮音性までは必要としない場合でも音環境を改善し、落ち着いてオンライン会議ができる環境を作りたい場合におすすめ



パネルで仕切られた半個室のブースは、ボックス型のブースに比べて省スペースで設置できます。限られたオフィススペースの中でレイアウト効率を高めたい場合はおすすめです。周囲からの視線は遮断しながら、オープンな空間の中に適度に囲われたソロワークの空間を作り出します。

③ 卓上設置型のブース

自席など卓上で手軽にオンライン会議ができる環境を作りたい場合におすすめ

急なオンラインミーティングや、一時的に集中して作業したい場合など、オフィスのレイアウトを変更することなく、最も手軽にソロワーク環境をつくるのが、卓上に設置するタイプのブースです。机上に設置するだけで手軽にソロワークブース環境を作ることができます。



今回は、オンライン会議時の「音問題」とその対策についてご紹介しました。コクヨマーケティングのホームページでは、今回ご紹介したアイテム以外にもオンライン会議時の音対策におすすめのツールや導入事例などを始め、オフィスや働き方に関する情報をご紹介します。ぜひご覧ください。

詳しくは

<https://www.kokuyo-marketing.co.jp/>

※記事中で紹介している製品の写真は、記事作成時の情報を元に掲載しています。実際の製品は、諸般の事情により、予告なく機能仕様等を変更する可能性がありますので予めご了承ください。



1



WEB会議スペース新設の前の課題

- 社内にWEB会議専用の場所がなく、既存の会議室で対応していたため、慢性的な会議室不足に陥っていた
- お取引先様との打合せは、発売前の製品に関するものが多く、秘匿性の高い情報を扱うため、セキュリティ上の理由から自席でWEB会議ができない

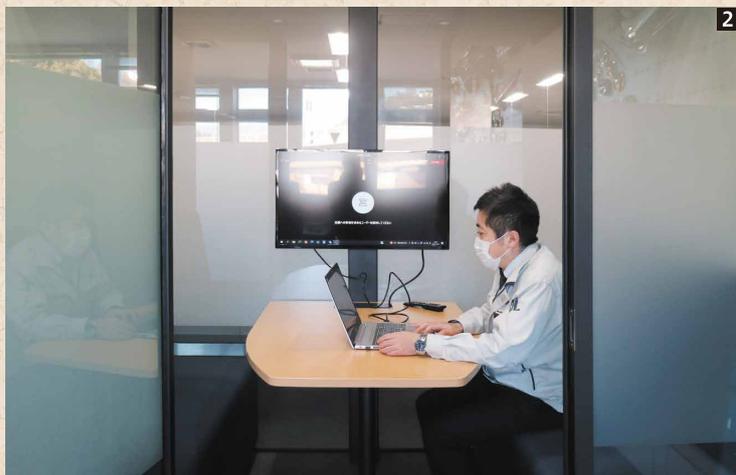


解決のポイント

- 社内に個室ブース型WEB会議スペースを新設
- 遮音性の高いフルクローズドな個室を設置し、会議等の秘匿性を確保することで、お取引先様との打合せも安心してできる環境に

WEB会議スペース新設のきっかけ

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、WEB会議が急増。社内にWEB会議に適した場が無かったため、専用のスペースを新設することに。



2



3

個室ブース型WEB会議スペースの新設で秘匿性の高い会議を安心して行える環境にお取引先様や社員にとって快適なWEB会議環境を実現

1

急増したWEB会議に対応するため、個室ブース型のWEB会議スペースを新設。コクヨWORKPOD<ワークポッド>1人用ソファタイプ、1人用スタンディングタイプ、4人用タイプを各1台導入しています。

2

4人用タイプは、複数名でのWEB会議や秘匿性の高い対面で相談、打合せに利用しています。複数名同時にPCや書類を広げても作業しやすい天板やモニターを設置し、快適な会議環境を構築しています。

3

社外の方との対面での打合せにも利用するため、動線を考慮し「来客コーナー」の向かい側に設置しています。モニターに投影した内容が外から見えないよう、ガラス面の一部分にシートを貼ってセキュリティ対策をしています。



WORKPOD導入後、既存の会議室をWEB会議で利用するといったことはなくなりましたので、慢性的な会議室不足が解消されました。また、お取引先様との重要な情報を取り扱うWEB会議も秘匿性が確保された空間で安心して行うことができるようになりました。出張して対応していた部分がWEBに変わった

ことで、業務効率化が進み、お取引先様からのご要望にもスピード感をもって対応できるようになったと感じています。

関東化成工業株式会社
経営管理部 総務課 課長 宮成将吾様

お客様情報

関東化成工業株式会社

所在地 | 神奈川県横須賀市池田町4-4-1

設立年 | 昭和44年5月1日

従業員数 | 404名

事業内容 | 製造業(自動車外装用樹脂メッキ、自動車外装用金属メッキなど)